



ASTON MARTIN

2016.7.26

報道関係各位

アストンマーティン・ジャパン

PressRelease

アストンマーティン・レーシング、FIA WEC ニュルブルクリンク 6 時間レースで優勝

- GTE Am クラスで#98 号車が優勝
- GTE Pro クラスで#95 号車が 3 位表彰台を獲得
- FIA 世界耐久選手権(WEC)のヨーロッパ・ラウンドが終了



FIA 世界耐久選手権(WEC)第 4 戦のニュルブルクリンク 6 時間レースがドイツで開催され、アストンマーティン・レーシングが GTE Am クラスで優勝、GTE Pro クラスでは 3 位に入り、ダブル表彰台を獲得しました。

終始ドライ・コンディションとなった今回のレースで、V8 Vantage GTE を駆るポール・ダララナ(カナダ)、ペドロ・ラミー(ポルトガル)、マティアス・ラウダ(オーストリア)組が、完璧なレースを展開して 1 位でフィニッシュラインを通過しました。

レースは、ラウダが序盤に力強い走りを見せ、このステイントで最速および 2 番手タイムを記録。チームは、残り 3 時間の時点で、2 番手のマシンとの差を大きく広げました。

レース終了後に、ラウダは次のようにコメントしています。「今日は素晴らしいレースでした。今年は、これで 2 度の優勝と 3 度の表彰台を獲得したことになります。完璧なレースで、チ



ASTON MARTIN

ーム・スタッフは素晴らしい仕事をしてくれました。戦略も良く、最適なタイミングでピットに入ることができました。ポール、ペドロと私は、一切のミスなしにステイントをこなし、今日は優勝できると確信していました。」

ダラ-ラナは、次のように付け加えています。「今日は最高の一日になりました。このチャンピオンシップで勝利することは、いつでも特別な意味を持っています。非常に競争の激しいこの選手権で、表彰台の頂点に戻ってこれたことは素晴らしいことです。これでル・マンの借りを少しは返せたと思います。チームが立ち直るにはこれが一番の方法です。」

これによってチームは、GTE Am クラスのタイトル獲得に向け、貴重なポイントを追加することになりました。WEC のヨーロッパ・ラウンドはこれで終了し、次戦はメキシコで 6 時間レースが開催されます。

GTE Pro クラスでは、#95 号車の V8 Vantage GTE が 3 位に入り、貴重なポイントを獲得しました。ニッキー・シムおよびマルコ・ソレンセン(共にデンマーク)組は、力強いパフォーマンスを見せましたが、最後のピットストップを行なった直後にイエロー・フラッグが出され、レース・ペースが落ちたことが他のチームに有利に働き、最終的に順位を 3 位に落とす結果となりました。

シムはレース終了後に次のようにコメントしています。「今回は厳しいレースとなりましたが、観客にとっては面白いレースだったと思います。レースでは、6 時間を通して激しいバトルが繰り広げられ、最初から最後までフォードやフェラーリと抜きつ抜かれつの展開となりました。彼らとのバトルを最高に楽しむことができました。自分の持てるすべての力を出して、プッシュし続けました。最終的には不運な形で 2 位を逃してしまいましたが、それがレースです。」

ソレンセンは、次のように付け加えています。「できる限りのことはしたし、チームも再び素晴らしい仕事をしてくれました。ピットストップのタイミングは完璧でしたが、ほんの少しの不運によって、一つ上の表彰台に上ることはできませんでした。次のサーキットは、我々のマシンの特性により合っていると思うので、優勝を目指して走りたいと思います。」



ASTON MARTIN

GTE Pro クラスでは、ダレン・ターナー(英国)とリッチー・スタナウェイ(ニュージーランド)がドライブする#97 号車も 5 位でフィニッシュしました。

アストンマーティン・レーシング・チーム代表のポール・ハワースは、次のように述べています。「Am クラスで優勝し、#95 号車が 3 位に入ってダブル表彰台を獲得することができ、今日は素晴らしい一日となりました。シリーズにとっては大変良いことですが、4 時間半が経過するまでは、今年の GT レースで最も過酷なレースとなりました。昨日、ポールポジションを取ってから、今日のレースでは優勝できると確信していました。今後は、メキシコでの戦いに集中することになります。メキシコでは、あらゆる種類の新しいチャレンジが待ち構えているでしょう。いずれにしても、今日のチームのパフォーマンスを誇りに思います。」

GTE Am クラスで#98 号車が優勝したことに関して、ハワースは次のように付け加えています。「我々の Am マシンは、素晴らしい戦略を実践することができました。3 人のドライバー全員が最高のパフォーマンスを発揮し、6 時間のレースをコンスタントなペースで走り続けて、優勝を勝ち取ることができました。チーム全体が、最初から戦うことに集中し、マット(マティアス)が力強い走りを見せて、最初の 2 回のピットストップが終了して、レースが落ち着いた頃には、かなりのリードを広げることができました。今回のレースでは、まさに我々が求めるパフォーマンスと結果を残すことができました。」

FIA 世界耐久選手権の第 5 戦となるメキシコ 6 時間レースは、夏休み明けの 9 月 3 日に開催されます。